

ご来園の皆様の感染防止のために



京都府立植物園は、5月18日(月曜)より開園しています。

しかしながら、未だ予断を許さない厳しい現状もあり、ご来園の皆様に対して感染防止の要請と園内の規制対策を行っていますので、ご理解ご協力いただき「憩いの場」としてご利用ください。
また、各種ガイド案内・講演会・講習会等の植物園主催行事は当面中止させていただきます。

【ご来園前のお願い】

- ◆ご来園前に、検温等を行ってください。
- ◆2週間以内に感染が拡大している国への訪問歴がある方はご入園をお断りします。

【ご入園時のお願い】

- ◆入園門では、サーモグラフィーにて体温確認させていただきます。
- ◆発熱、咳、咽頭痛などの症状がある方はご入園をお断りします。
- ◆ご入園の際は、マスク等の着用をお願いします。

【ご入園後のお願い】

- ◆マスク等の着用、手洗い・手指の消毒をお願いします。
- ◆人の密集が想定される次のエリア等を一部封鎖しています。
 - ・観覧温室
 - ・未来くん広場(遊具、きのこ文庫)
 - ・ばら園(土曜・日曜のみ)
 - ・植物生態園、しゃくやく園、あじさい園など人が密集するエリアの細い通路
 - ・東屋(あずまや)
- ◆人の密集を避けるため、テーブルやイスを撤去しています。
 - ・ばら園、植物園会館等
- ◆再入園は、お断りしています。

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! ‘おすすめ樹木めぐり’ ‘おすすめエリアガイド’などをスマホで確認し、植物観察!

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



今週の「探して！」

2020. 5. 22

2号

⑫ ハナビシソウ

ケシ科。北アメリカ大陸南西部原産。名前の由来は、日本の家紋の一つである「花菱紋(はなびしもん)」に花の形が似ていることによる。花は日光を受けて開くため、曇天や雨天時には閉じており、晴天時に全開となる。

⑪ ブラシノキ

フトモモ科。オーストラリア原産。属名のカリステムンはギリシャ語で「美しい雄しべ」という意味。特徴は花の姿で、ピンを洗うためのブラシにそっくり。英名もその名のとおり、Bottlebrush(ボトルブラッシュ)と呼ばれている。

⑩ シャクヤク

ボタン科。シベリア、中国、モンゴルが原産。日本には中国から薬用植物として渡来。ボタンは木本で冬も枝が残るのに対し、シャクヤクは草本で冬は地上部が枯れ、地中の根や芽で冬越しする点で区別できる。

⑨ アイラトビカズラ

マメ科。中国の長江流域原産。日本では2箇所だけで確認できる非常に貴重な植物。長く熊本県山鹿市の相良地区に1株だけ自生しているとされ、推定樹齢が千年を超えるこの個体は国の特別天然記念物。その後、長崎県で自生確認。

① エキウム ウィルドプレッティ

ムラサキ科。スペイン領カナリア諸島原産。当園では、1980年に種子を導入し、82年に露地栽培での国内初開花に成功した。その希少さと美しさから「宝石の塔」とも呼ばれる。

② アリウム ギガンテウム

ヒガンバナ科。中央アジア原産。アリウムには約700種の野生種があり、タマネギ、ニンニク、ラッキョは同じネギ属の仲間になる。小花を球状に密生させ、直径約20cmの花序をつくる。大型種の代表。

③ オオバオオヤマレンゲ

モクレン科。朝鮮半島から中国東北部に分布。雄しべが濃い鮮やかな紅色となる。近縁種のオオヤマレンゲは日本にも分布し、雄しべは淡い紅色。奈良県の大峰山に自生し、花がハス(蓮華)に似ていることが和名の由来。

④ ガウラ

アカバナ科。北アメリカ原産。和名は淡桃色の花から山桃草(ヤマモモソウ)。花の形や色に由来し、白蝶草(ハクチョウソウ)との別名もある。ガウラはギリシア語の「堂々たる」、「華麗な」を意味するgaurosに由来し、美しい花にちなむ。

⑤ バイカモ

キンポウゲ科。直径1.5cmほどのウメに似た花を咲かせ水中に生えることから「梅花藻」と名が付いた。北海道から本州にかけて分布。南限である近畿地方では、現在、滋賀県と兵庫県で自生が確認されているが、京都府では既に絶滅。

⑥ センペルセコイア

スギ科。北アメリカ西部原産。高さ100m以上にもなる世界有数の大高木で当園でも最も高い木である。昭和37年(1962)に約2mのものを植栽し、現在では約40mに成長している。

⑦ ジキタリス

オオバコ科。原種は地中海沿岸を中心に中央アジアから北アフリカ、ヨーロッパに分布する。花の形が指サックに似ていることから、ラテン語で「指」を表すdigitusが名前の由来。

⑧ ウマノアシガタ

キンポウゲ科。北海道西南部から沖縄、東アジア原産。名前の由来は地際の葉の形が馬の蹄に似ているといわれるが、あまり似ていない。蹄鉄を打たない時代に使われていた馬わらじの形が上から見た花の形に似ているという説もある。

